

# いなば西郷 むらづくり計画



平成22年11月

いなば西郷むらづくり協議会



# 「西郷って良いところだな」と みんなが思う地域づくりをめざして

## はじめに

私たちの故郷「西郷地区」は、美しい緑に囲まれた平穏で静かなところです。

明治22年に制定された五総村（中井、牛戸、本鹿、小河内、神馬）と明治村（湯谷、小畑、弓河内、北村）が、大正4年に合併して西郷村が誕生しました。その当時から住民は強い郷土愛を持ち、教育への関心も深かったことから、昭和5年には当時としては県内有数の立派な建造物である西郷小学校を建設しています。

昭和30年に河原町、国英村、八上村、散岐村と合併して河原町となり、さらに平成16年には鳥取市となりましたが、今でも地区内の小学校や保育園、郵便局、地区公民館などを中心にコミュニティを形成し、「同じジゲの者同士」という連帯意識を持ち続けています。

この地域を住民たちの手でより良い地域にしようと、平成21年12月6日、いなば西郷むらづくり協議会が発足しました。協議会は、ワークショップやアンケートを通じて住民の意向や要望を把握しながら議論し、検討を重ね、「いなば西郷むらづくり計画」を策定しました。

この計画は、自立した住民による実行を前提としたものであり、もちろん鳥取市などの行政や関係団体等の支援は不可欠ですが、あくまで住民自身が主体になって実現を図ることを目的としています。

なお、この計画は、社会情勢の変化や地域を取り巻く状況、住民の皆さんの意向等に適切に対応するため、3年毎に見直しを行うこととします。





## 西郷地域の現状と課題・展望

### ■ 現 状

#### ① 土地・自然

西郷地区は農地 273 ㌔(平成 17 年農林業センサス)、宅地 29 ㌔、山林原野等 4,137 ㌔、合計 4,439 ㌔で、山林の占める割合が多い地域です。

南西から北東に向かって流れ下る曳田川とその支流の小河内川に沿って農地と 11 の集落が点在しています。これら集落は概ね標高 70 ㌔から 370 ㌔の間にあり、都市部に比べて冷涼な気候です。また、山の最高峰は標高 1,054 ㌔の高山です。

#### ② 社会環境

地域内には小学校、保育園、郵便局があり、鳥取市中心部と結ぶ県道のほか、佐治町や三朝町等に通じる県道、広域林道、農道などが整備されています。地域内の各集落では伝統的な獅子舞が伝承されており、今でも村祭で演じられています。

また、陶磁器の窯元が 3 つあり、最近ではガラス工芸や木工などの文化芸術的な活動も盛んです。

人口は 1,468 人(平成 22 年 2 月 28 日住民登録)で最盛期(昭和 25 年、2,811 人)の 52.2%となっており、西郷小学校の生徒数も現在 65 名と最盛期(昭和 33 年、397 名)の 16.4%となっています。高齢者率(65 才以上人口割合)は 34.4%(平成 22 年 2 月 28 日)です。

### ■ 課 題

#### ① 自然環境の悪化

耕作放棄地が増え、農地の荒廃が目立つとともに、鹿や猪などによる獣害が増えてきています。また、河川の汚染が進み、葦などが繁茂するとともに、水中の生き物が少なくなっています。

#### ② 生活環境の不便さ

鳥取市の中心部に向かう県道は中学校などへの通学路でもありますが、歩道もなく自転車通学は危険となっています。公共交通のバスが運行されていますが、利用者の減少とともにさらに便数が減ることが危惧されています。また、地域内には就労の場がほとんどありません。

#### ③ 集落機能の弱体化

高齢化と少子化により、集落の行事や防災体制の維持が困難になり、子ども会等も運営できなくなっています。

#### ④ 公共公益機関存続への危惧

人口減少や少子化により小学校、保育園、郵便局の存続が危うくなりつつあります。

### ■ 展 望

いろいろ多くの課題はありますが、小学校 4 年生以上の全住民を対象に平成 22 年 2 月に行ったアンケートの結果を見ますと、回答率は 76%と高い関心が示され、回答内容も建設的な提案が多く、住民の皆さんには郷土に対する熱い想いがあります。

このアンケートでは、協議会への期待も多く寄せられました。住民の手で創設した「いなば西郷むらづくり協議会」に今後とも全住民が参画し、この『いなば西郷むらづくり計画』の実現に向かって活動することによって、「住んでいる人が生き生きとした明るい西郷」が築かれていくものと信じます。



## I 人と人が支えあう郷

高齢化と少子化が進み、人に対する優しさや思いやりが失われつつありますが、西郷地区に住んでいるお年寄りも若者も子どもも、みんながふれあい明るく生活しながら暖かい心を醸成し、安心して暮らせる地域となることをめざします。

### 具 体 策

#### 1 早急に実現を図る計画

- ・西郷地区敬老会を開催する。
- ・小中学生を対象に土曜楽校を創設し実施する。  
(西郷っ子チャレンジ広場の趣旨にそって)

#### 2 中長期的に実現を目指す計画

- ・地域住民の交流の場として「いきいきふれあいサロン」を開設する。
- ・高齢者世帯の健康確認を含む見守り活動体制を構築する。
- ・災害時対応の体制整備とともに、防災訓練や炊き出し訓練等を実施する。
- ・高齢者から子どもまで誰もが参加できる西郷地区リクリエーション大会を開催する。
- ・結婚適齢期の男女の出会いの場をつくる。

## II 健康づくりの郷

「生涯現役」をモットーに、健全なスポーツや食生活によって「全住民が元気で生き生きと暮らす郷」となることをめざします。

### 具 体 策

#### 1 早急に実現を図る計画

- ・男の料理教室を開催する。
- ・食と健康について講演会を開催する。
- ・地元で採れる食材を使った料理コンテストの開催と、レシピ集を作成する。
- ・健康ウォーキングマップを作成する。



#### 2 中長期的に実現を目指す計画

- ・地区健康まつりを開催する。(リクリエーション大会と共催)
- ・生活習慣病予防運動・体力づくり・介護技術習得研修(連携講座)を推進する。
- ・病気になりにくい体質づくりのため、食生活改善運動を行う。
- ・「よさこい」を基盤とした健康体操を考案する。



## Ⅲ 豊かな自然を満喫できる郷

三滝、高山、湯谷温泉、兵円等の観光資源に恵まれ、また、カジカ蛙が鳴き、螢が飛び交う素晴らしい西郷地区です。これらの資源を活用した都市との交流を進めるとともに、この自然を地域住民が再認識して、保全活用しながら後世に残して行きます。

### 具 体 策

#### 1 早急に実現を図る計画

- ・ 地区内、地区外の人々とともに西郷地区を散策して景観ポイントや散策コースを設定し、マップ等で紹介する。
- ・ 西郷地区の豊かな自然と農産物、伝統文化等を活用して都市部との交流事業を行う。
- ・ かわはら道の駅等で、西郷地区ルートマップ・PR看板（旗）・キャラクター等を使ってPRする。
- ・ 道路沿いの景観づくりを行う。

#### 2 中長期的に実現を目指す計画

- ・ 河川の景観を良くするための整備を促進する。
- ・ 湯谷荘が自然と融合した施設となるよう、むらづくり協議会も積極的に関与し改善を促進する。
- ・ 高山、三滝、兵円について、新たな魅力づくりを考える。



「伝説にある牛戸の三枚岩」

## Ⅳ 楽しくて文化溢れる郷

西郷地区は、村々に獅子舞（神楽獅子と麒麟獅子）や昔話が伝承され、また、神馬の傘踊りなど伝統文化が脈々と息づいている地域です。さらに、3つの窯元や木地師、ガラス工芸などの匠が活躍中で、地域住民の文化活動なども積極的に行われており、これらを盛り立てながらさらに芸術文化の集積を図っていきます。

### 具 体 策

#### 1 早急に実現を図る計画

- ・ 獅子舞交流会を開催する。
- ・ 西郷の歴史・民話を掘り起こす。
- ・ 地域まるごと博物館  
「ぎやらりー あっちこっち」を開催する。
- ・ 旧家の蔵などに眠っている「お宝」を発掘し展示する。
- ・ 「ものづくり講座」を開設する。

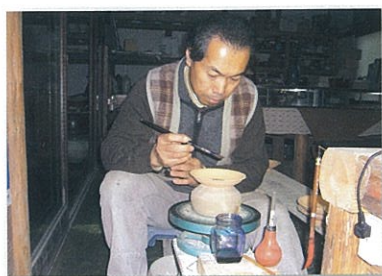


「北村の神楽獅子」



## 2 中長期的に実現を目指す計画

- ・西郷の民話を小学生が演劇し地域住民に紹介する。
- ・湯谷温泉を核としたグリーンツーリズムを実践する。
- ・空き家の再利用を推進する。
- ・湯谷温泉に簡易工房、作品展示場、販売店舗をつくる。
- ・倉吉の西郷、隠岐の西郷と「さいごう」同士の交流を行う。
- ・西郷の地域通貨『GO』をつくる。(相互扶助制度)



「牛ノ戸焼」



「因州中井窯」



「やなせ窯」

## V 住みやすい環境の郷

山河に囲まれた住みやすい環境を保全しながら、すこやかな子育てに適した地域づくり、安心した老後の生活ができる環境づくりを推進します。

小学校、保育園、郵便局、曳田川と小河内川、県道・市道・農道・林道などの公共公益施設について整備充実されるよう努めます。

### 具 体 策

#### 1 早急に実現を図る計画

- ・西郷保育園の給食食材に地元農産物を供給する。
- ・河川の実態調査を兼ねた「西郷の川をよ〜く見よう」イベントを開催する。
- ・曳田～天神原間の県道改修を促進する。



「西郷の川をよ〜く見よう」の1コマ

#### 2 中長期的に実現を目指す計画

- ・子どもや高齢者に優しい交通手段、冬期の交通手段などについて検討し、確保に努める。  
(バスの利便性の向上対策、安心安全な通学路の整備など)
- ・西郷地区唯一の金融機関である郵便局の利便性の向上と充実を図るよう、関係機関に働きかける。
- ・河川クリーン作戦として、河川のゴミ清掃を行い、景観の保持とカジカ蛙や螢の生息を守る。  
また、子どもたちが川で安心して遊べる場所を作る。
- ・井手を活用した小水力発電を検討する。



## Ⅵ 元気な農林業の郷

緑豊かな景観を守るために、西郷の気候条件を活かした農作物の栽培、及び山林の保護・活用等によって、元気な農林業を育てていきます。

### 具 体 策

#### 1 早急に実現を図る計画

- ・ むらづくり協議会が主体となって耕作放棄地対策に取り組む。
- ・ 現在各集落で取り組まれている、中山間地域直接支払制度や農地水環境保向上対策事業について、西郷地区として統合を図る。  
未実施の集落等についても西郷地区への参入を進める。



「まちむら交流・いも植え」

#### 2 中長期的に実現を目指す計画

- ・ 農作業受託組織の充実を図り、オーナー制なども取り入れつつ農地景観の保全に寄与する。
- ・ まちむら交流を通じた農作業体験を発展させ、市民農園としての農地活用にも取り組む。
- ・ 西郷の特性を活かした農産物を作って西郷の特産品として売り出す。
- ・ 安心安全な農作物づくりを目指し、堆肥供給と生産指導の体制づくりを行う。
- ・ 山の保全活動の推進、山を活用したイベントなどの新たな活動の発掘を行う。
- ・ 広がりつつある竹林の防止対策とともに、竹製品の開発やタケノコ掘りツアーなど竹の活用策を考案し実施する。
- ・ 農地に関する相談窓口を開設し、農地の貸し借りなどの円滑化を図る。
- ・ 湯谷荘隣接地の遊休市有地を観光農園として活用策を図る。







江戸時代中期 西郷の古地図 (鳥取県立図書館所蔵)

## いなば西郷むらづくり協議会

鳥取県鳥取市河原町中井355-7

鳥取市立西郷地区公民館内

TEL (0858) 85-0445

Eメール : inaba\_saigo@yahoo.co.jp

ホームページ : <http://chiiki.city.tottori.tottori.jp/saigo-1/inaba-saigo/>